

1 回目 はじめての実行

1. J a v a とは？

1995 年に Sun Microsystems 社から発表されたオブジェクト指向言語 (Object-oriented language) です。オブジェクト指向とは、ソフトウェアが扱う対象の振る舞いを物理的または抽象的な実体とそれらの相互作用として捉える考え方です。オブジェクト指向は、近年複雑・大規模化するソフトウェアシステムを見通し良く記述できる特徴をもち、様々なプログラミング言語に取り入れられています。

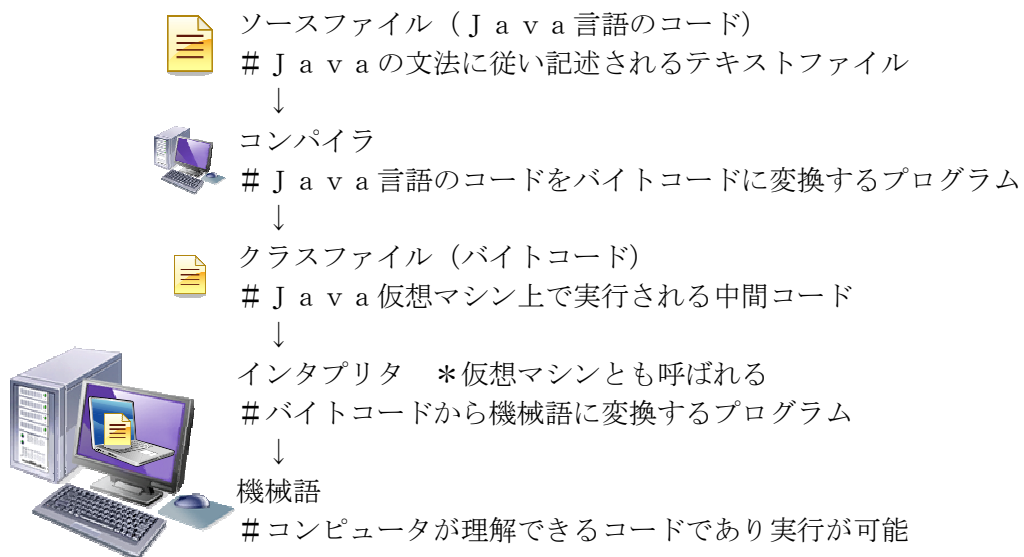
Java 言語 物体 (オブジェクト) に着目したプログラミングスタイル



C 言語 手続きに着目したプログラミングスタイル



2. 実行までの流れ



3. J a v a 言語開発環境

コンパイラやインタプリタは Sun Microsystems 社から JDK (Java 2 Standard Edition Development Kit) として無償で提供される。本講義ではコンパイル・実行を GUI (Graphical User Interface) から簡単に起動できるフリーソフトである CPad for Java2 SDK を使用する。

4. 次のコードを打ち込んで実行してみよう

ソースファイル名 : Sample1.java ※ファイル名はここと同じに

```
class Sample1      ←──────────────────────────┐
{
    public static void main(String[] str)
    {
        System.out.println("ようこそ J a v a へ！！");
    }
}
```

※入力上の注意点

- ・英数字は全角ではなく、半角で入力すること
- ・英字の大文字と小文字は異なる文字として処理される